

平成27年第1回今帰仁村議会定例会会議録

招 集 年 月 日	平成27年3月4日			
招 集 場 所	今帰仁村議会議場			
開 散 会 日 時 及 び 宣 告	開 議	3月6日 午前10時00分		
	散 会	3月6日 午後2時54分		
出 席（応招）議員	議席番号	氏 名	議席番号	氏 名
	1	與 儀 常 次	8	與那嶺 好 和
	2	上 原 祐 希	9	山 城 太
	3	與那嶺 透	10	久 田 浩 也
	4	東恩納 寛 政	11	座間味 薫
	5	與 那 勝 治		
	6	吉 田 清 尊		
	7	玉 城 みちよ		
欠 席（不応招）議員				
会 議 録 署 名 議 員	10	久 田 浩 也	11	座間味 薫
職 務 の た め 議 場 に 出 席 し た も の	事 務 局 長	小那覇 安 啓	書 記	宇茂佐 和 代
	係 長	玉 城 民 枝		
地方自治法第121条に より説明のため議場に 出席した者の職氏名	村 長	與那嶺 幸 人	住 民 課 長	田 場 盛 史
	副 村 長	大 城 清 紀	福祉保健課長	宮 里 晃
	総 務 課 長	小那覇 安 隆	総 務 課 主 幹	當 山 清 巳
	教 育 長	新 城 敦		
	学校教育課長	田 港 朝 津		
	社会教育課長	上 間 恒 章		
	建 設 課 長	金 城 正 明		
	経 済 課 長	島 袋 輝 也		

平成27年第 1 回今帰仁村議会定例会

議事日程第 3 号

平成27年 3 月 6 日（金曜日）

1. 開 議 午前10時

2. 付議事件及び順序

日程 番号	議案番号	事 件 名	摘 要
1		諸般の報告	
2	議 案 第 3 2 号	平成26年度今帰仁村一般会計第 7 回補正予算について	説明・質疑 討論・採決 説明・質疑 討論・採決
3	議 案 第 3 3 号	平成26年度今帰仁村国民健康保険特別会計第 4 回補正予算について	

○ 議長 東恩納寛政君 ただいまの出席議員は11名です。定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

(開議時刻 午前10時00分)

日程第1.「諸般の報告」を行います。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第1項の規定による、平成25年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書は、お手元に配付したとおりであります。なお、朗読は省略いたします。

日程第2.「議案第32号 平成26年度今帰仁村一般会計第7回補正予算について」を議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。大城清紀副村長。

○ 副村長 大城清紀君

議案第32号

平成26年度今帰仁村一般会計第7回補正予算について

上記議案について、別紙のとおり提案し議会の議決を求めます。

平成27年3月6日提出

今帰仁村長 與那嶺 幸 人

平成26年度今帰仁村一般会計補正予算

平成26年度今帰仁村一般会計補正予算（第7回）は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算の補正)

第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2,955万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ59億9,079万2,000円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

(繰越明許費)

第2条 地方自治法第213条第1項の規定により翌年度に繰り越して使用することができる経費は、「第2表 繰越明許費」による。

(地方債の補正)

第3条 地方債の変更は、「第3表 地方債補正」による。

平成27年3月6日

今帰仁村長 與那嶺 幸 人

第1表 歳入歳出予算補正

歳入

(単位：千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
1 村 税		553,364	9,600	562,964
	1 村 民 税	174,252	1,600	175,852
	2 固 定 資 産 税	296,476	3,600	300,076
	3 軽 自 動 車 税	27,073	400	27,473
	4 市町村たばこ税	55,561	4,000	59,561
3 利子割交付金		1,133	△275	858
	1 利子割交付金	1,133	△275	858
4 配当割交付金		599	645	1,244
	1 配当割交付金	599	645	1,244
5 株式等譲渡所得割交付金		171	755	926
	1 株式等譲渡所得割交付金	171	755	926
6 地方消費税交付金		73,599	585	74,184
	1 地方消費税交付金	73,599	585	74,184
7 ゴルフ場利用税交付金		18,325	△4,225	14,100
	1 ゴルフ場利用税交付金	18,325	△4,225	14,100
9 自動車取得税交付金		6,059	△1,621	4,438
	1 自動車取得税交付金	6,059	△1,621	4,438
11 地 方 交 付 税		2,093,109	69,783	2,162,802
	1 地 方 交 付 税	2,093,019	69,783	2,162,802
13 分担金及び負担金		88,040	△8,424	79,616
	1 分 担 金	52,283	△16,267	36,016
	2 負 担 金	35,757	7,843	43,600
14 使用料及び手数料		40,133	762	40,895
	1 使 用 料	32,903	762	33,665
15 国 庫 支 出 金		613,866	31,201	645,067
	1 国 庫 負 担 金	306,926	△2,928	303,998
	2 国 庫 補 助 金	302,946	34,044	336,990
	3 国 庫 委 託 金	3,994	85	4,079
16 県 支 出 金		1,433,951	△77,388	1,356,563
	1 県 負 担 金	188,507	△2,214	186,293
	2 県 補 助 金	1,206,718	△75,210	1,131,508
	3 県 委 託 金	38,726	36	38,762

款	項	補正前の額	補 正 額	計
17 財 産 収 入		15,031	6,591	21,622
	1 財 産 運 用 収 入	13,178	6,591	19,769
18 寄 附 金		25,331	4,680	30,011
	1 寄 附 金	25,331	4,680	30,011
19 繰 入 金		193,249	△370	192,879
	1 繰 入 金	193,249	△370	192,879
21 諸 収 入		216,476	2,751	219,227
	4 雑 入	182,672	3,126	185,798
	5 受 託 事 業 収 入	33,076	△375	32,701
22 村 債		358,083	△5,500	352,583
	1 村 債	358,083	△5,500	352,583
歳 入 合 計		5,961,242	29,550	5,990,792

歳 出

(単位：千円)

款	項	補正前の額	補 正 額	計
1 議 会 費		74,922	57	74,979
	1 議 会 費	74,922	57	74,979
2 総 務 費		1,019,556	81,254	1,100,810
	1 総 務 管 理 費	874,033	90,305	964,338
	2 徴 税 費	84,958	△6,175	78,783
	3 戸 籍 住 民 登 録 費	28,866	61	28,927
	4 選 挙 費	27,923	△2,937	24,986
3 民 生 費		1,603,731	42,492	1,646,223
	1 社 会 福 祉 費	1,101,478	54,520	1,155,998
	2 児 童 福 祉 費	502,253	△12,028	490,225
4 衛 生 費		340,595	△6,556	334,039
	1 保 健 衛 生 費	153,383	△3,502	149,881
	2 清 掃 費	187,212	△3,054	184,158
6 農 林 水 産 業 費		790,607	△91,857	698,750
	1 農 業 費	755,552	△90,242	665,310
	2 林 業 費	20,914	22	20,936
	3 水 産 業 費	14,141	△1,637	12,504
7 商 工 費		187,156	△2,546	184,610
	1 商 工 費	187,156	△2,546	184,610

款	項	補正前の額	補 正 額	計
8 土 木 費		471,493	△2,654	468,839
	1 土 木 管 理 費	12,855	△271	12,584
	2 道 路 橋 梁 費	381,453	△2,352	379,101
	3 河 川 費	47,276	0	47,276
	4 港 湾 費	21,189	344	21,533
	5 住 宅 費	8,720	△375	8,345
9 消 防 費		180,550	4,747	185,297
	1 消 防 費	180,550	4,747	185,297
10 教 育 費		751,314	5,787	757,101
	1 教 育 総 務 費	108,902	△883	108,019
	2 小 学 校 費	65,055	14,030	79,085
	3 中 学 校 費	28,594	1,045	29,639
	4 幼 稚 園 費	31,047	501	31,548
	5 社 会 教 育 費	250,837	△8,047	242,790
	6 保 健 体 育 費	266,879	△859	266,020
11 災 害 復 旧 費		18,054	△1,456	16,598
	1 農 林 水 産 施 設 災 害 復 旧 費	16,160	△1,456	14,704
12 公 債 費		520,260	282	520,542
	1 公 債 費	520,260	282	520,542
歳 出 合 計		5,961,242	29,550	5,990,792

第2表 繰 越 明 許 費

款	項	事 業 名	金 額(千円)
2. 総務費	1. 総務管理費	今帰仁村地域安心・安全告知整備事業	10,960
2. 総務費	1. 総務管理費	地域住民生活等緊急支援交付金事業	52,000
6. 農林水産業費	1. 農業費	村づくり交付金事業（西部地区）	42,320
6. 農林水産業費	1. 農業費	村づくり交付金事業（東部地区）	83,000
7. 商工費	1. 商工費	地域活動拠点活性化事業	16,466
8. 土木費	2. 道路橋梁費	与那嶺諸志線道路改築事業	115,509
8. 土木費	2. 道路橋梁費	村道古宇利線改良工事	50,000
8. 土木費	2. 道路橋梁費	村道仲尾次水溜橋改良事業	7,400
11. 災害復旧費	1. 農林業水産施設災害復旧費	富原林道災害復旧事業	8,536
合 計			386,191

第3表 地 方 債 補 正

起 債 の 目 的	補 正 前				補 正 後			
	限 度 額	起債の方法	利 率	償還の方法	限 度 額	起債の方法	利 率	償還の方法
村づくり交付金（西部地区）	千円 21,900	証 書 借 入	5.0％以内 （ただし、 利率見直し 方式で借り 入れる政府 資金及び地 方公共団体 金融機構資 金につい て、利率の 見直しを 行った後に おいては当 該見直し後 の利率）	政府資金につ いては、その 融資条件によ り、銀行その 他の場合では その債権者と 協定するもの による。ただ し、村財政の 都合により据 置期間及び償 還期限を短縮 し、又は繰上 償還もしくは は、低利に借 換えすることが できる。	千円 21,900	証 書 借 入	5.0％以内 （ただし、 利率見直し 方式で借り 入れる政府 資金及び地 方公共団体 金融機構資 金につい て、利率の 見直しを 行った後に おいては当 該見直し後 の利率）	政府資金につ いては、その 融資条件によ り、銀行その 他の場合では その債権者と 協定するもの による。ただ し、村財政の 都合により据 置期間及び償 還期限を短縮 し、又は繰上 償還もしくは は、低利に借 換えすることが できる。
村づくり交付金（中部地区）	7,800	〃			5,300	〃		
村づくり交付金（東部地区）	17,900	〃			19,900	〃		
与那嶺諸志線道路改築事業	28,800	〃			28,800	〃		
村道古宇利線改良事業	16,300	〃			15,900	〃		
村道仲尾次水溜線	2,200	〃			1,800	〃		
沖縄振興特別推進交付金事業	92,800	〃			93,700	〃		
史跡今帰仁城跡買上事業	4,800	〃			4,800	〃		
富原林道災害復旧事業	8,000	〃			2,900	〃		
臨時財政対策債	157,583	〃			157,583	〃		
合 計	358,083				352,583			

以上、3表までご説明いたしましたけど、予算事項別明細書以降につきましてはお目通しを願いたいと思います。

○ 議長 東恩納寛政君 休憩します。 (休憩時刻 午前10時19分)

○ 議長 東恩納寛政君 再開します。 (再開時刻 午前10時20分)

大城清紀副村長。

○ 副村長 大城清紀君 議長の指摘を受けまして、事項別明細書の中で100万円以上についてご説明していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

歳入から行きます。10ページをごらんください。10ページの歳入、1款村税、1項村民税、1目個人160万円の滞納繰り越し分の増でございます。

続きまして11ページ、同じく1款ですけれども、1目固定資産税360万円の滞納繰り越し分の増でございます。

続きまして13ページをお願いします。4項市町村たばこ税の1目市町村たばこ税の1節の現年課税分が400万円の増額となります。

18ページをお願いします。7款ゴルフ場利用税交付金、1項ゴルフ場利用税交付金、1目のゴルフ場利用税交付金でございます。1節のゴルフ場利用税交付金422万5,000円の減額となっております。

続きまして19ページ、9款の自動車取得税交付金でございます。1目の自動車取得税交付金が1節の自動車取得税交付金162万1,000円の減となっております。

続きまして20ページ、11款地方交付税、1項地方交付税、1目の地方交付税の1節の普通交付税6,978万3,000円の増でございます。

21ページをお願いします。13款の分担金及び負担金の1項の分担金、1目の農林水産業分担金は1節の農業費分担金の減額の1,626万7,000円でございます。

この減額につきましては、災害に強い栽培施設の整備事業（農家分）の負担の減によるものでございます。

続きまして22ページ、同じく13款の1目民生費負担金、1節の児童福祉費負担金が790万9,000円の増でございます。これは児童福祉費負担金 保育所保護者負担金800万円が主なものでございます。

続きまして24ページをお願いします。15款国庫支出金の1項国庫負担金、1目民生費国庫負担金は第5節の身体障害者福祉費負担金の減額の375万円、これは身体障害者福祉費負担金補装具給付費が50万円の減。障害福祉サービス費が250万円の減、障害児施設措置費が75万円の減となったものでございます。

続きまして3目災害復旧費国庫負担金、1目の農林水産施設災害復旧費207万2,000円の増。これは富原林道災害復旧に係る費用が増額になったものでございます。

続きまして25ページ、15款国庫支出金の1目総務費国庫補助金が第2節地域住民生活等緊急支援交付金の5,150万4,000円の増。これは地域消費喚起・生活支援型交付金が2,635万8,000円、地方創生先行型交付金2,514万6,000円の国の特別補正によるものでございます。続きまして2目民生費国庫補助金は4節の臨時福祉給付金事業が減額の885万7,000円でございます。臨時福祉給付金給付事業臨時福祉給付金が725万円の減になったもので、当初見込みよりも給付が減ったということでございます。続きまして5節の子育

て世帯臨時特例給付金給付事業が減額の519万円でございます。これも同じように子育て世帯臨時特例給付金の支給減額によるものでございます。続きまして5目土木費国庫補助金、7節の社会資本整備総合交付金が200万円の減、これは村道仲尾次水溜橋改良事業費が減額になったものでございます。

続きまして28ページをお願いします。16款県支出金、1項の県負担金で1目民生費県負担金でございます。これは2節の身体障害者福祉費負担金が187万5,000円の減額になったものでございまして、これは身体障害者福祉費負担金の補装具給付費が25万円減額。障害福祉サービス費が125万円の減額。障害児施設措置費が37万5,000円の減額によるものでございます。

続きまして29ページ、4目農林水産業費県補助金、1節農業費補助金が減額の6,609万7,000円。これは災害に強い栽培施設の整備事業の減額4,644万4,000円が主なものでございます。続きまして園芸拠点産地成長戦略事業が1,948万1,000円の減額によるものです。続きまして6節畜産業費補助金が600万円の減でございます。これは肉用牛生産振興特別対策事業費が600万円の減でございます。続きまして5目商工費県補助金、これは2節の沖縄県緊急雇用創出事業補助金が165万5,000円の減でございます。これは今帰仁アグーのブランド商品開発及び集客力向上事業89万5,000円の減。よもぎ・きくいもの生産・加工・販売促進事業が76万円の減です。

続きまして31ページをお願いします。17款財産収入、1項財産運用収入、1目財産貸付収入の第2節建物貸付収入658万7,000円の増でございます。これは今帰仁村茸生産出荷施設、第2今帰仁茸生産出荷施設658万7,176円が入るものでございます。

続きまして32ページ、18款寄附金、1項寄附金、1目の一般寄附金の1節の寄附金468万円。これは今帰仁村うるおいとやすらぎのむらづくり応援寄附金の増によるものでございます。

続きまして34ページをお願いします。21款諸収入、4項雑入の4目雑入、2節の雑入312万6,000円の増でございます。これの主なもの、平成25年度障害者自立支援医療給付費等国庫負担金が212万737円の増によるものでございます。

続きまして36ページをお願いします。22款村債、1項村債、6目災害債、2節の農林施設災害復旧費債が510万円減額になったものでございます。これは林道の災害復旧費の減によるものでございます。

続きまして歳出、38ページをお願いします。2款の総務費、1項総務管理費、1目の一般管理費、2節の給料195万円の減、これは一般職の給料の減によるものです。続きまして4節共済費180万円の増。これは臨時職員社会保険料が150万円増になったのが主な要因でございます。続きまして11節の需用費137万5,000円の増。これは消耗品費とか水道光熱費、主なものは庁舎内修繕費117万5,000円によるものでございます。

続きまして40ページをお願いします。4目財産管理費の25節の積立金3,668万円の増でございます。これは財政調整基金1,000万円、福祉基金1,000万円、ふるさと基金1,000万円、今帰仁村うるおいと安らぎのむらづくり応援基金468万円、村営火葬場の維持管理費及び建設基金として200万円の増によるものでございます。続きまして5目の企画費、7節の賃金298万6,000円の増。これは地方創生先行型事業の創設によるものでございます。続きまして11節需用費181万円の増。これも地方創生先行型事業の181万円でございます。続きまして12節役務費101万円、地方創生先行型事業の101万円でございます。13節の委託料

3,579万6,000円。これは地域消費喚起・生活支援型事業2,650万円の増と地方創生先行型事業1,010万円によるものでございます。14節使用料及び賃借料128万円、これも地方創生先行型事業によるものでございます。15節の工事請負費510万円、地方創生先行型事業510万円でございます。続きまして18節備品購入費320万2,000円の増でございます。これも地方創生先行型事業でございます。

つづきまして42ページをお願いします。2項徴税費、1目の税務総務費、2節の給料の減額の285万円は、一般職給料の減額によるものでございます。続きまして3節職員手当187万円の減。これは職員期末手当146万7,000円の減が主な要因でございます。つづきまして4節の共済費。職員共済組合負担金132万円の減額によるものでございます。

続きまして49ページをお願いします。3款の民生費、1項社会福祉費、1目の社会福祉総務費につきましては7節の賃金が147万6,000円の減でございます。社会保障・番号制度の分の50万9,000円の減が主な要因となっております。続きまして12節の役務費100万円の減。これは臨時福祉給付金給付事業の減によるものとなっております。

50ページをお願いします。19節負担金、補助及び交付金725万円の減。これも臨時福祉給付金給付事業の減によるものでございます。続きまして28節繰出金8,129万2,000円の増でございます。これの主なものはその他繰出金（国保特会赤字補填）が8,000万円の増によるものでございます。続きまして2目の老人福祉費、2節の給料。一般職給料が150万円の減によるものでございます。続きまして3節職員手当、これも133万4,000円、職員の扶養手当、通勤手当、住居手当、期末手当、職員勤勉手当等の減によるものでございます。続きまして13節の委託料が136万7,000円の減。主な要因といたしましては老人福祉計画策定業務、高齢者虐待等緊急一時保護委託料の事業の減によるものでございます。続きまして20節の扶助費198万5,000円の主なものは、地域支援事業の減の173万5,000円が主な要因となっております。続きまして4目身体障害者福祉費の13節委託料が減額の122万円でございます。これの主なものといたしまして、第4期障害福祉計画策定委託業務の減によるものでございます。続きまして20節扶助費750万円の減でございます。これは補装具給付費100万円の減、障害児施設措置費150万円の減が主な要因となっております。

続きまして54ページをお願いします。2項児童福祉費、1目児童福祉総務費の19節負担金、補助及び交付金が401万円の減となっております。これは子育て世帯臨時特例給付金給付事業の減が主な要因でございます。続きまして2目児童措置費の20節扶助費130万円の減。これの主なものは児童手当の減が主な要因となっております。

続きまして3目の保育所費、55ページでございます。4節共済費が172万5,000円の減。これは職員共済組合負担金の減でございます。

続きまして56ページ、4款の衛生費、1項保健衛生費、1目保健衛生総務費、2節の給料180万円、これは一般職給料の減額によるものでございます。続きまして4節共済費141万4,000円、これも同じく職員共済組合負担金の減によるものでございます。

続きまして58ページをお願いします。3目の母子保健衛生費の20節の扶助費125万円の減の主なものといたしましては、未熟児養育医療費43万円が主な要因となっております。

60ページをお願いします。2項清掃費、1目清掃総務費の13節委託料152万円の減。これはゴミ収集委

託料の減によるものでございます。19節の負担金、補助及び交付金は161万4,000円の減、清掃組合負担金の減によるものです。

続きまして61ページをお願いします。6款の農林水産業費、1項農業費、2目の農業総務費、4節の共済費114万5,000円の減。これは職員共済組合負担金の減によるものでございます。

続きまして62ページをお願いします。15節の工事請負費6,271万円の減でございます。これは災害に強い栽培施設の整備事業費の減によるものでございます。続きまして19節負担金、補助及び交付金2,012万6,000円の主な要因といたしましては、園芸拠点産地成長戦略事業の減額1,948万1,000円が主な要因となっております。続きまして4目の畜産業費、19節の負担金、補助及び交付金が600万円の減となっております。これは肉用牛生産振興特別対策事業の減によるものでございます。

続きまして63ページをお願いします。9目の村づくり交付金、15節の工事請負費531万1,000円でございます。これは村づくり交付金事業西部、中部、東部の増によるものでございます。

66ページをお願いします。3項の水産業費、1目の水産業総務費、補正額が163万8,000円でございます。これの主なものとは2節の給料97万円の減によるものでございます。

続きまして67ページをお願いします。7款の商工費、1項商工費、1目商工総務費、補正額285万4,000円の主なものは13節の委託料167万5,000円の減が主な要因でございます。これは今帰仁アグーのブランド商品開発及び集客力向上事業の減額の90万5,000円とよもぎ・きくいもの生産・加工・販売促進事業の77万円の減によるものでございます。

続きまして70ページをお願いします。8款土木費、2項道路橋梁費、3目の道路新設改良費、補正額210万1,000円、これの主なものとは13節の委託料597万8,000円の減。これは古宇利線改良事業の減によるものが主なものでございます。それと15節の工事請負費712万2,000円、仲尾次水溜橋と村道古宇利線の改良事業の増によるものでございます。それと17節の公有財産購入費260万4,000円の減。これは村道古宇利線改良事業に係るものでございます。

続きまして75ページをお願いします。9款消防費、1項消防費、1目常備消防費、補正額474万7,000円でございます。これの主なものとしたしましては19節の負担金、補助及び交付金474万7,000円は消防組合負担金の増によるものでございます。

続きまして78ページをお願いします。10款教育費、2項小学校費、1目学校管理費、補正額441万9,000円でございます。これの主なものとは11節の需用費213万円の増によるものでございます。14節の使用料及び賃借料の増となっております。

続きまして79ページ、2目の教育振興費961万1,000円の増でございます。これの主なものとは11節の需用費975万8,000円の増によるものでございます。これの主なものとは教師用教科書、指導書の費用に充てるものでございます。

83ページをお願いします。10款教育費、5項社会教育費、1目の社会教育総務費、補正額815万6,000円の減額でございます。これの主なものとは2節の給料、3節の職員手当等、4節の共済費が主な要因となっております。

91ページをお願いします。11款災害復旧費、1項農林水産施設災害復旧費、1目農林施設災害復旧費、

補正額145万6,000円の減額でございます。これの主な要因といたしましては15節の工事請負費が減額になったものでございます。以上でございます。よろしくお願いします。

○ 議長 東恩納寛政君 暫時休憩します。 (休憩時刻 午前10時51分)

○ 議長 東恩納寛政君 再開します。 (再開時刻 午前11時02分)

これから歳入の質疑を行います。歳入につきましては1款から22款まで一括で行いますので、よろしくお願いします。歳入の質疑を行います。質疑ありませんか。1番與儀常次議員。

○ 1番 與儀常次君 歳入、15款、25ページ。2項国庫補助金、1目総務費国庫補助金の2節の地域住民生活等緊急支援交付金の5,150万4,000円の地域消費喚起・生活支援型交付金2,635万8,000円と地域創生先行型交付金2,514万6,000円、この地域創生は40ページにもいっぱい支出でもありますけど、この事業の説明と2目民生費国庫補助金の4節臨時福祉給付金事業、5節子育て世帯臨時特例給付金給付事業の説明を求めます。

○ 議長 東恩納寛政君 當山清巳総務課主幹。

○ 総務課主幹 當山清巳君 ただまの質疑にお答えします。

25ページです。1目総務費国庫補助金、2節地域住民生活等緊急支援交付金ですが、それにつきましては国の補正予算に伴うものであります。内容的には、国のほうの補正で1月末に予算化されていて、1つ目には今、地域消費喚起・生活支援型交付金というのがありますけど、それに関しましては国家予算では2,500億円です。それともう1点、地方創生先行型交付金というのが国の予算では1,700億円というのがまず1月末に国で予算化されて、それを受けまして2月中旬ごろに要綱が出まして、この目的としては、まだ地方では経済がまだ地方へ行くと活性化していないということで予算化されて、地方をもっと元気にさせようということでやられたもので、まず、その中で2月中旬ごろに示されたのが今帰仁村に示された、要するに割り当てというんですか、それが要するに今の地域消費喚起・生活支援型交付金の場合、村は予算書にありましたように2,635万8,000円、それともう1点、2つ目が要するに地方創生先行型交付金といって2,514万6,000円、これは内示が来ています。そういう中で、それを予算化して全額繰り越しをして平成27年度で実施していくという内容にはなっています。その2つのうちの1つ目は、今はまだ県を通しまして国との申請とか、そういう事前調整を今やっている中ではありますけれども、今帰仁村としましては1点目の消費喚起につきましては、村の商工会に委託して、今、村内の事業所で商品券を村内に限って、指定して買ってもらって村内の事業所で消費してもらうという考えで、商工会でも調整しながら今、国に事前に申請を出して調整している段階であります。

もう1点目の地方創生先行型交付金に関しましては、1点目に2,500万円ぐらいありますけど、その中の1,000万円弱は、要するに今後、平成27年度から要するに5カ年の地方戦略、地域の戦略計画を策定するという事業に回そうと考えています。もう1点目の残りの1,500万円ぐらいは、今、村が一番抱えている悩みとして子育て支援ですか。子育て支援に充てていきたいというふうに考えながら、要するに並行しながら国に事前申請をしている中であります。予算をこういうふうに上げていますけれども、確定するのが恐らく3月、議会中に、3月いっぱいには確定していただけたとは思っているんですが、それをやって確定して組み替えをして実施していこうというふうに考えています。先ほどお話した中で、1点目の地方

消費喚起・生活支援型交付金に関してはですね、1点目は事前調整である程度内諾をもらいまして、今、本申請を出している段階であります。それに関してはほぼ確定していると。今後また受託していただく商工会と詰めていってやっていきたいと。具体的に今やっているのは500円程度のチケットを何枚かつづりにして印刷して、それをまた住民に買ってもらって、決まった村内の事業所でそれを使ってもらおうという考えをしています。昔、五、六年前にあった、あげるだけの定額給付金給付事業がありましたよね。あれじゃなくてですね、今回はプレミアム、わかりやすく言えば1,000円の商品券に村としては3割をつけて、1,300円の効力を有するものでやっていきたいというふうに考えています。以上です。

○ 議長 東恩納寛政君 宮里 晃福祉保健課長。

○ 福祉保健課長 宮里 晃君 ただいまの1番議員の質疑にお答えいたします。

15款2項2目民生費国庫補助金の臨時福祉給付金事業と子育て世帯臨時特例給付金の減額の件でございますが、この件につきましては昨年4月に消費税の増税がございましたけれども、その増税に伴いまして低所得者層の世帯、または子育て世帯に経済的な支援ということで給付金を支給する制度でありました。臨時福祉給付金につきましては対象者お一人に1万円、その中で年金を受給している条件のある方につきましては5,000円の加算という形になっています。また、子育て世帯臨時特例給付金につきましては15歳未満のお子様を持つ所得制限にかからない方の子供お一人1万円の給付という形の制度でありました。本村におきましては、昨年7月から給付金の申請を行いまして、当初は10月16日までの予定でしたけれども、その申請期間を延ばして多くの方に給付しているところでございますが、臨時福祉給付金につきましては、これまで1,848世帯、3,762名の方に総額5,306万円を給付しています。また、子育て世帯臨時特例給付金につきましては396世帯、総勢760名の方に760万円の給付を行っています。当初、この負担金は住民の対象者に給付する負担金に関しては7,000万円近くの負担金を見込んで計上させていただきましたけれども、この実績により総額6,066万円が給付されておりまして、当初の見込み額の残額をお返しし減額するというので、この金額になっております。以上です。

○ 議長 東恩納寛政君 1番與儀常次議員。

○ 1番 與儀常次君 課長の説明で大体わかりましたけど、再度質疑をしていきたいと思います。

地域住民生活等緊急支援交付金は地域消費喚起・生活支援型交付金とありましたが、2,635万8,000円ですね。これについては商工会等で商品券を村内に発行して消費してもらおうということでもありますけれども、これの対象者は村民全体なのかですね。また、支援を要する世帯なのか、村民全体でこの券を購入して、今さっきの説明では1,000円ぐらいの商品券だったら1,300円で300円の補助みたいな形ということでもありますけれども、もう少し詳しく、もし現時点でわかるのであれば説明を求めます。

それと次の地方創生先行型交付金、これは国でいろいろマスコミ等で騒がれている石破さんが担当している地方創生の事業だと理解しておりますけど、今の説明で子育て支援云々がありましたけど、地方が元気になる支援金だと私は思っていますけど、そうして理解していいのか。特に今後からは子育て支援云々が法律が変わって大変な時期でありますので、そういうものに活用できるのかどうか、再度答弁を求めたいと思います。

次に民生費国庫補助金ですが、課長の説明では世帯数が1,848世帯とか396世帯あったということであり

ましたけど、最初の予定した件数と申請した件数が変わって、そういう金額になったのかどうか。要するに、もっと申請すれば1,848世帯が来るのか、396世帯以上が来るのかですね。もし、申請して適用する方がいるんだったら連絡して、役場もできるかどうか、再度答弁を求めます。

○ 議長 東恩納寛政君 當山清巳総務課主幹。

○ 総務課主幹 當山清巳君 ただまのご質疑にお答えします。

先ほどあった地方消費喚起・生活支援型交付金のほうですが、今、対象はどちらかという話でしたけど、まだ決まっているのは村の事業所で買ってもらうということは限定しようと思っています。当然、村民に買ってもらうわけですが、広く村内の事業所で落としてくれれば助かるので、できれば限定しないで買っただけのらんだたら、今後詰める話ですけど、こういうのはまた国とも調整しながら、できるだけ村が委託している商工会からチケットを早目に買って、早目に消費してもらって、地元では確実に使っていただくとい形に持っていきたいと考えています。

もう1点ですが、地方創生先行型のものですけど、ご指摘のとおり去った12月末ですか、石破大臣が国を挙げて、新たに省庁をつくって、将来、地域を元気にしようという話で、国策を上げて、まずその中で、要はすぐ予算化して繰り越しして、まずは最低限1,000万円で5カ年計画をつくりなさいと。なおかつ今帰仁村自体のビジョンも見据えて5カ年計画をつくるという、これは確実にやることになっています。村の計画書ですね。その中で総合的な計画をつくる中で、先ほど残った1,500万円は緊急にこういう子育て支援に持って行くという話ですが、単年度だけではなくて、今後5カ年間はトータル的にこういった計画を持って村は地域を元気にするんだという計画書をつくって、毎年チェックをしながら5カ年の計画をつくっていくというような内容になっています。以上です。

○ 議長 東恩納寛政君 宮里 晃福祉保健課長。

○ 福祉保健課長 宮里 晃君 ただいまの質疑にお答えいたします。

臨時福祉給付金または子育て世帯臨時特例給付金につきましては、対象者を全村民に通知をいたしまして、その村民からの申請に基づき、その個人の所得情報を確認した後に対象者を決定いたします。そのため、申請の際には個人情報閲覧・確認するための本人からの同意書が必須でありましたので、4,000世帯余りある村民の世帯にお送りして、実は確認していいという同意書を得られた方が2,900名余りになります。その中から同意書をいただいた方の世帯を確認いたしましたところ、臨時福祉給付金につきましては1,954人、子育て世帯については409人ということで、残りの600世帯につきましては対象外でありましたということです。その同意書の申請がない方につきましては、やはり個人情報ですので調べることはできないというところでありました。その中で申請があった、同意書の返信があつて確認して確定申請ができるという方が申請した数。実際に給付した数につきましては、ほとんど臨時福祉給付金では94.2%、子育て世帯につきましては96.7%。確実にもらえる方につきましては、そのパーセンテージの方々が受給しているという形です。残りの7%から6%の方々に関しては、再三ご連絡をしているんですが、残念ながら期限内に申請がなかったというところで、実はこの給付金制度に関してはもう締めきっておりますので、今後申請があつても給付できないということになっております。以上です。

○ 議長 東恩納寛政君 1番與儀常次議員。

○ **1番 與儀常次君** 再度、地方創生ですが、私は地方が元気になるには地域に子供たちが、今現実に全国的に減っている状況で、これに力を入れていくという形で進んでいると思いますけど、今帰仁村も子供がだんだん減っている状況でありますので、ぜひ、そういう面でも予算を投入できるようにやってもらいたいと思っています。今帰仁中も10年間で最初は4クラス、4クラス、4クラスでスタートしましたが、今は各3クラスになっております。将来的には各2クラスになる可能性が今見えてきていますので右肩下がりです。ぜひ、地域の若い方々が子供を一人から二人という形で産める状況、環境づくりをするためにも、この予算を使って、地域に子供たちがいなければ地域は活性化できないと思っています。ぜひ、そういう形で予算のいい使い方も検討してもらいたいと思います。全国では、いろいろ研修に行きますと、小さい集落はもう存続危機が迫っている限界集落もございますので、そうならないためにも、そういう予算は地域の若者に子育てとかの支援に回して、産める環境づくりも我々は共に考えながら、若者が地域に残って、地域で子供を産んで地域で育てる環境づくりをするのが我々行政の努めと思っていますので、せっかく国がそういう形で予算も措置しておりますので、地域創生先行型交付金は生かしてもらいたいと思いますので、要望して終わります。

○ **議長 東恩納寛政君** ほかに、6番吉田清尊議員。

○ **6番 吉田清尊君** 歳入の29ページ。16款県支出金、2項県補助金、4目農林水産業費県補助金。この1節の災害に強い栽培施設の整備事業、この詳細について説明を求めます。

それから同じく6節です。肉用牛生産振興特別対策事業。これについての説明を求めます。

それから5目の2節今帰仁アグーのブランド商品開発及び集客力向上事業。同じく、よもぎ・きくいもの生産・加工・販売促進事業の詳細の説明を求めます。

○ **議長 東恩納寛政君** 島袋輝也経済課長。

○ **経済課長 島袋輝也君** ただいまのご質疑にお答えします。

29ページ、16款県支出金、2項県補助金の4目農林水産業費県補助金、1節災害に強い栽培施設の整備事業の件につきましては4,644万4,000円、県の補助ですね。県の補助分を強化ハウスの整備ということでございます。それにつきましては事業費の税抜分の80%が県の補助です。その分の事業執行の残に伴う歳入予算の確定に伴う減額ということでございます。

続きまして6節の畜産業費補助金の肉用牛生産振興特別対策事業、減額の600万円につきましては昨年初予算の段階で県の事業量調査のときに、今帰仁の法人、組合ですね。T O H飼料組合のほうで整備したいということで申請を出されていまして、当初予算で600万円、歳出も10割補助ですね。県の補助の600万円を計上してございました。しかし、その団体、その組合は平成25年に同様の事業を活用しまして整備している関係で、連続としてのその事業の補助はできないということがわかりまして、今回、3月議会で予算の検討、その予算の確定に伴いまして予算の減額をしたところでございます。

あと、5目の商工費県補助金。2節沖縄県緊急雇用創出事業補助金、今帰仁アグーのブランド商品開発及び集客力向上事業の減の89万5,000円とよもぎ・きくいもの生産・加工・販売促進事業の76万円につきましては、県の緊急雇用促進事業の基金事業でございまして、今回、平成26年から平成27年にわたって行う事業であります。それにつきましては人づくり、人材育成を目的とした事業ということで、12月の議会

で5事業を県のほうに申請しまして、その2事業が漏れたということで、県の事業の確定に伴いまして、その2事業を減額、今回3月の補正ですので、事業確定に伴っての減額ということでございます。当初、県のほうとしましても、平成26年、平成27年の事業につきましては12月の補正で事業量は確定、予算化しておくということの指示がありましたので、希望のあった5事業を上げていたところです。それが12月の国の会計検査が、さきの事業を含めて5年分の検査がありまして、県の審査等、ヒアリング等の中で人材育成の新規制とかというのが重点的な形になりまして、指摘の重要な案件になりまして、喫緊の査定のほうで漏れたというのがその2つの事業です。以上です。

○ 議長 東恩納寛政君 休憩します。 (休憩時刻 午前11時31分)

○ 議長 東恩納寛政君 再開します。 (再開時刻 午前11時32分)

6番吉田清尊議員。

○ 6番 吉田清尊君 災害に強い栽培施設の整備事業なんですけど、これは4,600万円、それからほかのところでも減がありますけど、21ページの1節のほうでも1,626万7,000円ありますけれども、このほうは農家のほうでの強化ハウスの申請で全員が認められなかったということなのか。それとも事業を何件がやったけど、その中で予算残があったからこの減額ということでしょうか、伺います。

それから、肉用牛のほうについて、これからまた新たに新年度でやっていく計画があるのかどうか。

それから、アグーとよもぎ・きくいもの件なんですけど、これについて漏れたということでもありますけど、2件がですね。今後、その2件で漏れた方々は今後申請していく考えがある予想なのか。その場合に県に次年度以降認められる可能性があるかどうか、お伺いします。

○ 議長 東恩納寛政君 島袋輝也経済課長。

○ 経済課長 島袋輝也君 ただいまのご質疑にお答えします。

まず初めに、災害に強い栽培施設の整備事業につきましてでございますけれども、それにつきましては、どんな気象条件、台風ですね、台風等の気象災害に対応した安定した製品、作物をつくろうということでの事業でありまして、その要件としましては、農業振興地域であるとか、農用地地区内であるとか、拠点産地または産地協議会を設置しているところが要件でございます。その中で今帰仁村としましては、できるだけ多くの方々をその事業で整備していこうということで、大枠を確保している。希望者を中心に、それに上回る形で予算を計上してございました。というのは、この事業につきましてはJAさんもやっておりますし、他町村の活用できなかった事業について今帰仁村はどうかということで、県のほうも毎年来ていますので、その辺を見込んで少し多めに予算を確保していたと。今回導入した事業としましては、強化パイプハウスとしてゴーヤーについて1団体、4農家。それからスイカにつきまして1団体、11農家に強化パイプハウスを導入していただいております。その事業を導入した分の県補助分の残りですね。残りを今議会で予算の決算見込みにあわせての予算の減ということになっております。

あと、肉用牛につきましては今後ともということでございますけれども、今後、北部地域で、クラスター協議会というのがJAを中心に立ち上がってきます。その中で、どうしてもその事業にかかわっていく形でありますので、その事業と併用してできるかどうか。肉用牛、和牛改良生産組合と調整していく必要があるかなと思います。希望があれば、どちらかの事業を採択できるように調整して県にも要請していきたい

いというふうに考えております。

あと、よもぎとアグーの緊急雇用対策事業につきましてでございますけれども、その事業につきまして、今は県の段階からの報告では平成26年、平成27年で人材育成事業については終わるというふうに聞いています。それで、平成26年12月に予算を確保して平成26年度中にスタートできるように、という形での予算を12月議会で計上していただきました。その中で県の審査の中で2業者が漏れたということは、先ほど説明したとおりでございますけれども、新しい事業等のメニューが、また形が変わってきた場合に募集を募りまして、重々県の審査等がクリアできるような形で調整して、再度希望があれば申し込んでいきたい。申請を県のほうにやっていきたいなというふうに考えております。以上です。

○ 議長 東恩納寛政君 6番吉田清尊議員。

○ 6番 吉田清尊君 災害に強い栽培施設の整備事業、これからも今帰仁村は農業が基幹産業でありますので、ぜひ強化ハウスにこれからも取り組んでもらいたいという要望をぜひ推進していただきたいと思います。

それから肉用牛の件についても、畜産の盛んな今帰仁村。これからも力を入れて取り組んでいただくように要請要望いたします。

それから平成26年度で今帰仁アグーのブランド商品開発集客向上事業、よもぎ・きくいも生産・加工・販売促進事業の県の事業は終わるということでもありますけれども、今後ともですね、これはまだ始まったばかりの事業でありますし、また定着し、よりまた発展するために村の応援補助を要請して私の質疑を終わります。

○ 議長 東恩納寛政君 ほかに質疑ありますか。8番與那嶺好和議員。

○ 8番 與那嶺好和君 歳入12ページの軽自動車税の滞納繰越分についてですけど、これは小型、特殊自動車。トラクターとか軽トラですね、特殊、ナンバーがありますよね。村が緑ナンバーを出す、それも入っているかお聞きします。

それと歳入、24ページの1節農林水産施設災害復旧費、富原林道災害復旧。前回はたしか1,800万円だと思ったんですけど、これが大分下がっていると思うのですが、これはどうなっていますか、お聞きします。

それとですね、先ほど6番議員が質疑した29ページ、5目商工費県補助金、2節沖縄県緊急雇用創出事業補助金の76万円減額のよもぎ・きくいもの生産・加工・販売促進事業がなぜ漏れたかお聞きしたいと思います。

○ 議長 東恩納寛政君 田場盛史住民課長。

○ 住民課長 田場盛史君 ただいまのご質疑にお答えします。

12ページ、3項軽自動車税、1目軽自動車税、2節滞納繰越分の滞納繰越の中の内訳の特殊自動車が入っていますかということなんですけれども、これにつきましては、今、予算では細かいのがちょっと今出てなくて、現時点で資料を持ち合わせていないんですけれども、後ほど確認してということでも大丈夫でしょうか。

○ 議長 東恩納寛政君 休憩します。

(休憩時刻 午前11時42分)

○ 議長 東恩納寛政君 再開します。 (再開時刻 午前11時42分)

田場盛史住民課長。

○ 住民課長 田場盛史君 先ほどの件なんですけれども、軽自動車の中に入っております。以上です。

○ 議長 東恩納寛政君 島袋輝也経済課長。

○ 経済課長 島袋輝也君 ただいまのご質疑にお答えします。

24ページ、15款1項3目災害復旧費国庫負担金、1節の農林水産施設災害復旧費に関することでございますけれども、当初は1,800万円と計上されたのに下がったのかというご質疑ですが、それはちょっと内容が違いまして、当初、12月段階では国の補助金がふえる、最低限50%ですので、50%で計上してございました。12月の国の災害査定とそれから県の補助金申請におきまして、この災害につきましては75.8%の補助を認めますよということで、逆に25.8%増額という形で今回は207万2,000円の増額の補正ということになっております。減ではなくて増額の補正です。ということです。補助金がふえたということです。ということです。前は808万1,000円です。歳出のほうでは1,600万円ぐらい確かありました。歳出では。今は歳入ですので、歳入は補助率が上がりましたということで増額ということです。前回は808万1,000円を50%で出しています、国から。

○ 議長 東恩納寛政君 休憩します。 (休憩時刻 午前11時44分)

○ 議長 東恩納寛政君 再開します。 (再開時刻 午前11時44分)

島袋輝也経済課長。

○ 経済課長 島袋輝也君 24ページにつきましては、先ほど申し上げたとおりでございます。

あと、29ページの16款2項5目の商工費県補助金の2節沖縄県緊急雇用創出事業補助金。よもぎ・きくいの生産・加工・販売促進事業の76万円の減につきまして、県の査定の理由につきましては、まず、きくいの生産方法の電子…、詳しくはちょっとあれなんですけれども、電子技法を活用した生産の技術と、あと、その事業の目的は人材育成ですので、その技法の研修制度がどうなっているかという質問等がございまして、その辺についてはちょっとまだ、その技法的なものが普遍的ではないと。普遍的ではなくて世間というか、いろいろな考え方を持っておられるので、まだその辺については県のほうとしても国との補助金、国の基金事業ですので、その辺の説明は難しいだろうということで、今回は取下げというふうに聞いております。以上です。

○ 議長 東恩納寛政君 8番與那嶺好和議員。

○ 8番 與那嶺好和君 特殊車両も入っていると言っていますが、今、トラクターなんかナンバープレートがついてないのが道から堂々と走っているんですよ。調べたことありますか。あれは整備不良で罰金と減点されるんですよ。6点、点数は。罰金6万円。だから、こういうものを調べて、ちゃんとプレートをつけさせて納税につなげないと、予算は足りない足りないしながら、こういうのもやっていないのがたくさんあるんですよ。トラクター、公道を走る車はほとんど違反ですよ、プレートつけないと。前にも言ったでしょう。これは今後徹底するか、答弁を求めます。

そして29ページのよもぎ・きくいの生産・加工・販売促進事業の件ですが、電子技法がわからないということを言っていますが、今帰仁村は前々回か研修をしに行っているんですよ。この電子技法等の。

非常にいいということで立ち上げてやっているんですけど、よもぎも非常にいいんです。そしてよもぎの煮汁、これはまた農家に還元もできるんですよ。その煮汁をかけると非常に成長が速いんですよ。だから、堆肥を買うよりもよもぎの煮汁をただでもらって、まいたほうがずっといいんですよ。ドラゴンフルーツで実験をやっているわけですよ私たちは。今はインターネットで琉大の先生が宮古で交付金を使って工場をつくらうとしているんですよ。電話を幾らしてもとらない、この先生は。宮古でつくらうとしているから。だから今帰仁村を離れるわけさ。非常にいい結果が出ているんですよ。またきくいもは。役場職員は飲んでいるでしょう、役場で。特に経済課は。だから、こんなにいいものをほったらかすというのは、もったいないんですよ。今、向こうはインターネットから全部で何個注文と来るんですよ、本土から。それぐらいなんですよ。これを緊急雇用事業でやろうとしているのに、12月では通って、また今度は駄目というのはどういうことですか。これはカットでしょう、減だから。この説明を求めます。

○ 議長 東恩納寛政君 田場盛史住民課長。

○ 住民課長 田場盛史君 先ほどのご質疑にお答えします。

先ほどトラクターのほうが公道から運行しているということでございますけれども、トラクターにつきましては公道等を運行する場合は登録が必要となってきますので、住民課としましても、情報を収集して登録していただくよう、これから努力していきたいと思っております。以上です。

○ 議長 東恩納寛政君 島袋輝也経済課長。

○ 経済課長 島袋輝也君 29ページの商工費県補助金に関する沖縄県緊急雇用創出事業補助金でよもぎ・きくいもの生産・加工・販売促進事業に関する質疑についてお答えします。

議員おっしゃるとおり、いろいろな機能性についてはいろいろ理解はしているつもりであります、この事業の趣旨と機能性の関係に関するものについては、ちょっと違いますので、その事業の趣旨について県の漏れた理由につきましてご説明します。まず、なぜ12月はできたのかというご質疑でございましたけれども、12月はまだ決定の段階ではなかったんです。12月については村で把握している事業について予算化をしておくようにという指示に基づいて来ている5業者、全て予算計上して県への申請を出したところでございます。ただ、県へ申請した後で、12月に県のほうのヒアリング等、県の査定等の中で、趣旨で既存事業の振り替えではないのかとか、新規制とか人材育成が趣旨であるので、人材育成の先ほども答弁したとおり、人材育成の研修課程について少し県のほうとしても認めにくいという内容がありまして、この2点が漏れた内容になっております。以上です。

○ 議長 東恩納寛政君 8番與那嶺好和議員。

○ 8番 與那嶺好和君 軽自動車の件ですけど、調べるんじゃなくて、あなた方は一軒一軒トラクターがあるお家わかるでしょう。台帳を調べればわかるから。回ってナンバーがついていないのはつけなさいと強制するのが当たり前じゃないですか。これは税金が入るんですよ、村に。そうじゃないですか。把握してただ調べて終わりだったら何もならないですよ。ちゃんとナンバープレートをつけさせないと、交通違反になりますよ、あれは。現に今帰仁村で捕まって罰金まで払って点数まで引かれたのがいますからね。こういう件もありますから、こうやってちゃんとナンバープレートもつけてくださいと言って指導するのが役場の仕事でしょう。答弁求めます。

そして課長、あれは薬草じゃないですよ。あれはお茶です。わかりますか、薬草じゃないですよ、お茶ですよ。ただ糖尿とかに効くというだけであって、あくまでもお茶です。そういう考えでやらないとできないですよ。お茶。答弁を求めます。

○ 議長 東恩納寛政君 田場盛史住民課長。

○ 住民課長 田場盛史君 ただいまのご質疑にお答えします。

この特殊、トラクターにつきましてはですね、公道を走っていないということで、もしその方が言った場合には、強制的にはこちらのほうで登録するというのは厳しいですので、今、把握されているこのトラクターを持っている農家の方に文書という形で登録が必要ですよといった、こういった形の案内を通知して周知していきたいと考えております。以上です。

○ 議長 東恩納寛政君 島袋輝也経済課長。

○ 経済課長 島袋輝也君 ただいまのお茶というものにつきましては理解いたしました。今後はお茶ということで申請等に使う場合につきましても薬草とかは使わずに、清涼飲料水のお茶であるということでやって、申請等に言葉も考えながら使っていきたいというふうに考えています。

あと、よもぎ・きくいもの生産・加工・販売促進事業につきましては、二度ほど申請をしておりますので、新たな新しい芽出しの企業とか、地域活性化、国挙げての経済活性化という事業等も出てくるかと思っておりますので、出てきた場合には公募して、検討してまた県とも調整しながら事業適用できるように進めていきたいと思っております。以上です。

○ 議長 東恩納寛政君 ただいまの8番與那嶺好和議員の質疑は既に3回に達しましたが、会議規則第55条ただし書きの規定により、特に発言を認めます。8番與那嶺好和議員。

○ 8番 與那嶺好和君 住民課長、ハーベスターも公道を走っているんですよ、ハーベスターも。横断したり農道を走ったり。ハーベスターってわかりますか。だから、トラクターが走らないということはないです。トラクターというのはお家の車庫に置くはずですから。誰も畑には置かないですよ。公道を走りますよ。だから、ちゃんと指導しなさいということです。

そして、よもぎはもう完全に沖縄で乾燥させて薬事法には引っかからないわけです。なぜかと言うと、本土でちゃんとつくって販売していますから。これぐらいで5,000円しますよ。こっちでただ乾燥させて、向こうで薬品としてつくって出して薬事法にも何も引っかからない。きくいもはお茶としてだから、何も引っかからない。だから申請を出しても緊急雇用対策事業でできると思うんですよ。言葉のあやです。方言で言えば、「ウレー、薬事法ピッカカランドー、従来カラアイヌ今帰仁ヌ薬草レンドー」と言えば通るさ。昔からあるんだのに。そうでしょう。だから、言葉の使いようだわけ。と思うけど、経済課長どうですか。

○ 議長 東恩納寛政君 休憩します。 (休憩時刻 午後0時02分)

○ 議長 東恩納寛政君 再開します。 (再開時刻 午後0時02分)

田場盛史住民課長。

○ 住民課長 田場盛史君 先ほどのご質疑にお答えします。

今後、広報等も活用しながら広くこういった件につきましては、周知していきたいと考えております。

以上です。

○ 議長 東恩納寛政君 島袋輝也経済課長。

○ 経済課長 島袋輝也君 ただいまのご質疑にお答えします。

まず質疑のありました、よもぎとかきくいもとかという内容につきましては、今回の緊急雇用創出事業の事業のアンケートは別物でございますので、あと人材育成がこの緊急雇用の事業の趣旨でありますので、議員指摘の内容につきましては、今後の新たは事業が出てきた場合に、参考としていただきたいと思います。以上です。

○ 議長 東恩納寛政君 暫時休憩します。 (休憩時刻 午後0時03分)

○ 議長 東恩納寛政君 再開します。 (再開時刻 午後1時30分)

午前に引き続き歳入の質疑を行います。質疑ありませんか。9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太君 ちょっと確認程度なんですけど、25ページです。先ほども同じ議員のほうから質疑があったんですが、1目の2節の地方創生先行型交付金についてなんですけど、先ほどの説明である程度理解はしているんですが、その中で1,500万円程度を子育て支援のほうに回すとおっしゃっていたんですが、それに至る経緯ですね。どういうふうな話し合い、調整が行われたのか。そしてこの交付金と整合性はどうなっているのか、説明求めます。

○ 議長 東恩納寛政君 當山清巳総務課主幹。

○ 総務課主幹 當山清巳君 ただいまのご質疑にお答えします。

地方創生先行型交付金の内容ですけど、戦略のほうはほぼ1,000万円程度は委託で実施していこうという考えを持っていますけど、残りの1,500万円ですね、今、4月1日から我々村のほうも、要は幼稚園での子供を預かる。要するにそういう体制で急ピッチで進めないといけないという話の中で、やっぱり緊急なのはそういった預かりに当たっての条件整備、そういったものに持っていこうということで、今、当初予算、補正予算を組む中で、話し合いの中で目標というか、それを、調整しようという形で今、国とやり取りしています。そのうちで可能であれば、健やか支援金ですか、そういったのも充当できないかということで検討をして内閣府に事前調整ということで今、投げている状況であります。以上です。

○ 議長 東恩納寛政君 休憩します。 (休憩時刻 午後1時32分)

○ 議長 東恩納寛政君 再開します。 (再開時刻 午後1時32分)

ほかにございませんか。5番與那勝治議員。

○ 5番 與那勝治君 再三ありますが、25ページ。1目2節地域住民生活等緊急支援交付金の中の地域消費喚起・生活支援型交付金についてなんですけど、これはプレミアムつき商品券と考えてよろしいですか。

○ 議長 東恩納寛政君 當山清巳総務課主幹。

○ 総務課主幹 當山清巳君 ただいまの質疑にお答えします。

そういうふうに考えて大丈夫です。

○ 議長 東恩納寛政君 5番與那勝治議員。

○ 5番 與那勝治君 先ほど商工会とともに進めているということでしたが、このスキームといいますか、商品券を商工会が発行する。この販売場所は商工会だけで購入できるのか。また、この商品券を使っ

てやり取りがされると思うんですが、この換金の方法とか、その辺お伺いいたします。

○ 議長 東恩納寛政君 當山清巳総務課主幹。

○ 総務課主幹 當山清巳君 ただいまのご質疑にお答えします。

今、この内容について商工会と調整して詰めている段階です。基本的には商工会で役場から委任委託する形にして、受託者である商工会のほうで、その2,500万円、2,600万円ぐらいですかね、その中で必要な必要経費として500万円ぐらいですか、その内訳としては向こうでやる賃金とか、あとはパソコンなどを使いますのでパソコン使用料とかですね。あとは印刷物。県が発行する印刷物、あとは周知徹底するためのパンフレットとかリーフレット、それから村内の店でやるわけですけど、今、ステッカーをやるかどうかでしょうか、これも相談しながらやっていく形です。恐らく今、確定じゃないんですけど予定としては商工会のほうで券を印刷して発行して、それを村民なり住民が買って、それを持って指定された店で使っていただくと。そして店の人はこの券を商工会に来てから換金すると、そういう形になろうかと思います。スキームとしては、4月にスタートして啓蒙を広報とかでやって、できればですけど、6月ごろには印刷が終われば早いうちに6月ごろからでも販売ですか、券の販売ができれば助かるなと思っています。そして6カ月、なるべく早く使ってもらって、まちのほうにお金が確実に落ちていけるように進めていきたいと思っています。最終的には2月ごろにはどれぐらい実績が上がったかということを報告を国にして、このお金はまた精算になると思うんですけど、全て使い切れれば予定どおり入るし、それをちゃんと、券だけ買って、これを使わないで置いたら使ったということにならないので、確実に店に行行って使ってもらって、これが実績になるということですね。そういうことで考えています。以上です。

○ 議長 東恩納寛政君 5番與那勝治議員。

○ 5番 與那勝治君 大体わかりました。このプレミアムつき商品券の使用方法についてなんですが、例えば現在、子供のお祝いとか何とかあるときに、イオンとかそういうところの商品券を買ってお返しで使っているところもあると思うんですけど、今婦仁村がわざわざ名護市をもうけさせている、おもしろくないところがありますが、これはこの辺に対しても使える券と考えてもよろしいでしょうか。

○ 議長 東恩納寛政君 當山清巳総務課主幹。

○ 総務課主幹 當山清巳君 今回のものはですね、確実に今、国に提示しているのは、村内にある店で使うように限定しようと思っています。名護市は名護市で各都道府県みんなあるので、我々は確実に村内で消費してもらうというふうに考えています。

○ 議長 東恩納寛政君 ただいまの5番與那勝治議員の質疑は既に3回に達しましたが、会議規則第55条ただし書きの規定により、特に発言を認めます。5番與那勝治議員。

○ 5番 與那勝治君 村内で仮にといいますか、村内で使われる券だと思われませんが、村内でしか使えない券になりますので、お祝い返しといいますか、それに対してできるのかできないのか。

○ 議長 東恩納寛政君 當山清巳総務課主幹。

○ 総務課主幹 當山清巳君 今の要綱では、それはできないというふうに考えています。要するに、現金代わりにはできないということですね。なおかつまた店で使ってもお釣りはこれでは取れないと。それがあまして、今、1つの券は1,000円じゃなくて500円ぐらいにやろうかなというふうに商工会とも、使

いやすいようにですね、使う側が。そういうふうを考えています。

○ 議長 東恩納寛政君 ほかに質疑者いらっしゃいますか。10番久田浩也議員。

○ 10番 久田浩也君 歳入について質疑をいたします。

29ページです。これは同僚議員からも再三出ておりますけれども、重複する箇所もあろうかと思っておりますけれども、再度質疑をしていきたいと思っております。

16款2項4目ですね。1節の農業費補助金。災害に強い栽培施設の整備事業、それと5目商工費県補助金の2節沖縄県緊急雇用創出事業補助金の今帰仁アグーのブランド商品開発及び集客力向上事業。それと、よもぎ・きくいもの生産・加工・販売促進事業の事業概要、そして実施方針ですね。どういった方向性を出して公募をやったのか。それと今回、推進できなかった農業費補助金、それと不採択に至った経緯ですね。それを事細かく答弁を求めたいと思っております。

○ 議長 東恩納寛政君 島袋輝也経済課長。

○ 経済課長 島袋輝也君 ただいまのご質疑にお答えします。

29ページ、16款県支出金、2項県補助金、4目農林水産業費県補助金、1節の農業費補助金の中の災害に強い栽培施設の整備事業の減の4,644万4,000円につきましては、台風とか悪天候の中でも安定的な農産物が栽培できるような施設を導入しようということの事業で、県の補助で税抜80%、あと分担金、個人の負担金ですね20%、プラス消費税は個人負担金という形になっている事業でございます。それで今回、9月補正の中で2億円の予算を確保しておりました。その中の執行が1億3,729万円の執行でございまして、それに伴う減が4,644万4,000円と県負担分の減ということになっております。それに伴いまして、質疑にはなかったんですが、分担金のほうも、個人負担金のほうも、それに伴って減があるということです。1節農業費補助金はそういうことでございます。

あと、5目の商工費県補助金につきましては、まずその事業の概要につきましては、計上のときにも説明をしているんですが、アグーにつきましては、アグーのまず事業名としてアグーのブランド商品開発及び集客力向上ということでございます。委託事業の内容としましては、今帰仁村の農産物、今帰仁アグー、シイタケ、エリンギ、和牛、海産物料理の開発提供を行い、宿泊所経営による農場観光からの滞在型サービスの提供を行い、ブランド力向上を観光振興から図るという目的で、当会社といえは長堂屋グループのほうから出されてきている内容でございます。

あと、よもぎにつきましては、よもぎ・きくいもの生産・加工・販売促進事業としまして、よもぎ・きくいもの生産・加工・販売事業を展開しているが、需要が増加するに伴い、高品質の製品を求められていると。作付面積が拡大するとともに高付加価値の製品を出し、6次産業化につなげていきたいというのが夢工房のほうから出されている内容となっています。不採択になった経緯につきましては、午前中の答弁でも再三申し上げておりますけれども、その事業につきましては人材育成が今回の事業の採択の要件でございまして、既存の事業の置き換えではないのかというような県の指摘等がございました。そういった中で、ヒアリングの中でこの2件が漏れた内容ということになっております。12月補正でもって予算を確保して平成26年度中にスタートしなければ平成27年まで続かないという事業ですので、12月に5事業の申し込みがありまして、5事業を上げて計上して不採択になった2事業について今回、県の補助決定に伴って

減額した次第でございます。以上です。

○ 議長 東恩納寛政君 10番久田浩也議員。

○ 10番 久田浩也君 課長から答弁をいただきまして理解はしております。それで、1点目の災害に強い栽培施設の整備事業、これは新規事業ではない、目新しい事業ではないということは認識しているつもりですけれども、これは継続推進ができなかったと。この受益者に対してですね、農家に対して2億円の枠をとっていただけれども4,600万円は使い切れなかったということでもありますけど、これですね、例えば村長の施政方針においてもですね、これは平成27年度の重点施策。これは11あるプロジェクトというか政策の中で、本村の基幹産業は農業であり、農業を中心とし他産業との連携を強化するとともに、これからも農作物被害防止施設等の整備推進を図り、災害に強い農業を目指していくと。これがしっかりうたわれているわけですね。これは。にもかかわらず、村長は高らかにこれを柱として重点施策に置きながら、農家の皆さんはついてこなかったと。ですね。そういうことを使い切れなかったという明確な理由、その点を見解の違いであればしっかりと答弁をしていただきたいというふうに思っています。

それと緊急雇用創出事業補助金の2点ですね。これはしっかり計画の段階で、これはいわゆるさきの議会において県のほうには上げたわけですが、しっかりこれは計画を農家の皆さんとしっかり組んだのか、プランニングを。大変期待をしているところもありまして、特に事業所は大事にするものですからね。その辺はさきの議会でも奨励をしたいという同僚議員もいましたけれども、大変残念な結果に今回なっているわけですが、いわゆる事業評価制度というんですか、しっかりこの事業を見立ててですね、プランニングして県と取り組んでいるのか。いささかこれは疑問なわけですよ。その辺、しっかり答弁を求めます。

○ 議長 東恩納寛政君 與那嶺幸人村長。

○ 村長 與那嶺幸人君 ただいまのご質疑にお答えしたいと思います。

1節の農業費補助金の災害に強い栽培施設の整備事業についてであります。これにつきましては平成27年度の施政方針でも述べておりますが、村としてはこれまで一貫してこの災害に強い強化ハウスを導入してほしいということの水産部長初め、県に要請をしているところであります。そういう中で、全県的にも農家が多いので、相当の補助事業が村に導入されているというふうに理解をしております。詳しいことにつきましては担当課長から説明させますけど、これは農家が対応できなかったというよりも、もっと違う面があると思いますので、経済課長から答弁をさせたいというふうに思っています。

○ 議長 東恩納寛政君 島袋輝也経済課長。

○ 経済課長 島袋輝也君 大きな概要としては、先ほど村長が答弁した内容と同じでございます。あと、その事業につきまして、それだけ歳入減ということの要因につきましてはJ A、花卉農協とか、独自の県からの補助事業が入ってきております。ただ、それに枠に漏れた方々を多く、市町村も事業主体となり得ますので、希望があれば受け入れようということで、2億円の予算を確保して準備をしておりました。今回、強化パイプハウスを入れたのが4農家、ゴーヤにつき4農家、スイカにつき11農家が村を通してのパイプハウスを入れております。それで確保していった中で募集もかけながらやったんですが、工期と県の予算の枠等もありますので、その辺を含めまして、今回、入札とかの事業実績に基づきまして県の事業分

担金の減にしたところでございます。

あと、5目の今帰仁アグーのブランド商品開発及び集客力向上事業及びよもぎ・きくいもの生産・加工・販売促進事業の事業の推進につきましては、10月に県のほうから地域ひとづくり事業の事業提案に関しての留意事項ということで文書が来まして、事業の提案がある事業につきましては12月の予算で予算を確保してくれと。平成26年にスタートしたものについては平成27年度までは基金事業としてできます旨のものが来まして、事業者とそれから担当と県ともキャッチボールをしながら送った状況ではあります。その中で12月の前半のほうに、この基金事業に関しまして国の会計検査が県内一斉に入りまして、過去5年間の分を出していく中で、その事業に関する疑義等が県に多く寄せられまして、その疑義の中でさらに県のほうの査定といいますか、認可についてハードルが少し高くなったのかなという感はあるように思います。今後につきましては業者を含めて、もう少し事業の組み立て方含めて経済課としてもできるだけ事業を採択できるような形で、もし同種の新しいメニューが出てきた場合については、連携しながらやっていきたいというふうに考えております。以上です。

○ 議長 東恩納寛政君 休憩します。 (休憩時刻 午後1時52分)

○ 議長 東恩納寛政君 再開します。 (再開時刻 午後1時53分)

島袋輝也経済課長。

○ 経済課長 島袋輝也君 その事業導入についての評価ということで、農家の感触ということで捉えてよろしいですか。その感触という観点から申し上げますと、さきの台風とかいろいろな被害状況の跡を見ますと、旧来のインチパイプと言ったらあれですけど、強化型じゃないようなハウスのものと比較すると、格段に植えつけしているものが残っているということで、喜ばれている状況です。それで希望者も多いです。平成27年度、従来の希望を募りながら補正で少し多めに確保していたんですが、当初予算で平成27年度確保して、早い段階から多くの方々にハウスができるように、関係団体と調整しながらやっていきたいというふうに考えています。以上です。

○ 議長 東恩納寛政君 10番久田浩也議員。

○ 10番 久田浩也君 本当にこの事業としては希望者が多いという中で、昨年大変大きい台風が来て、本来ならば2億円も使い切れるんじゃないかなという感是否めないわけですよ。だからこの4,600万円も推進できなかったというのは少しどうかなという、私は疑義を持っているところであるわけです。だから、しっかりこれは改善すべきは改善、実行から評価に移して、これもサイクルで回していかないと、そういう予算の計上。推進できなかったという結果を生むというのは露呈しているわけですから、しっかりこれは農家の皆さんともいろいろ協議をしながらですね、ぜひこれを執行に生かしていただきたいということであるわけですよ。

それとアグーのブランド商品開発及び集客力向上事業と、それと下のよもぎ・きくいもの生産・加工・販売促進事業、これは県の見解が既存の事業の延長ではないかという疑義だったということですよね。ということは、長堂屋あるいは居酒屋の延長だという県は認識をとったわけですか。そういうところをしっかりと、次の事業採択にも生かすためにも、これはしっかり希望者との、ある意味では協議をして、県のほうに上げる段階で申し込みしていかないと、これは次のステップアップに非常に私はマイナス要因の1つ

になるんじゃないかなというふうに解釈しているわけですよ。その辺ですね、やはり今後とも実情をしっかりと踏まえてですね、例えば採択見込みからヒアリング、いろいろ重ねて順序に上げていくと。これはスキームをつくっていかないと、これは非常に今後の不安要素を抱えていくんじゃないかなというふうに私は捉えているわけですが、その辺ですね、課長のほうで再度、最後に答弁を求めて終わります。

○ 議長 東恩納寛政君 島袋輝也経済課長。

○ 経済課長 島袋輝也君 ただいまのご質疑にお答えします。

まず初めに、農業費補助金に関する関係の件からお答えします。確かに4,600万円は多くの農家の方々にもできたんじゃないかというご意見でございます。県の枠をできるだけ議会の時期もありますので、早目に予算を確保して、できるだけ多くの農家に確保していこうという思いで、少し多めに予算を確保していたというのが実情ではあります。その中で、今回やったのは先ほど申し上げた11の農家にやっ残り、県の枠も限りがありますので、そうなった状況ですという内容です。

あと、5目の商工費県補助金に関しましては、確かに既存の事業の継続ではないかというようなご指摘も確かにあります。そういった中で、やっぱりその事業採択について、村の振興計画に沿った形でのものをその事業導入に向け、新しい事業は今後は形を変えてくると思うんですけども、この審議する内容をしっかりと内部で審査するようにして、県に上げてから切られるとかという前に、しっかりと事業内容を村でも検討してですね、県に上げたものについては全て採択できるような形でできる方向で少し調整していきたいというふうに考えています。以上です。

○ 議長 東恩納寛政君 ただいまの10番久田浩也議員の質疑は既に3回に達しましたが、会議規則第55条ただし書きの規定により、特に発言を認めます。10番久田浩也議員。

○ 10番 久田浩也君 ただいま課長からしっかりした答弁をいただいて、少し安心はしております。今後ともですね、これはやっぱり農業は基幹産業でございますので、しっかり事業採択ができるように。本当にこの農家の皆さんに近づいてですね、しっかり実情を踏まえた上で、今後県に上げていく。上げて県に切られるのとは全然違いますよ。それはしっかり肝に銘じて、今後業務に当たっていただきたいということを要望して終わります。

○ 議長 東恩納寛政君 ほかに質疑ありませんか。

(「質疑なし」の声あり)

○ 議長 東恩納寛政君 「質疑なし」と認めます。

次に歳出、第1款議会費から4款衛生費までの質疑を行います。質疑ありませんか。1番與儀常次議員。

○ 1番 與儀常次君 歳出、3款民生費、50ページ。1項社会福祉費の1目社会福祉総務費の28節繰出金の一番最後のその他繰出金(国保特会赤字補填)の8,000万円となっていますけれども、これの説明を求めます。

○ 議長 東恩納寛政君 當山清巳総務課主幹。

○ 総務課主幹 當山清巳君 ただいまの質疑にお答えします。

50ページの28節繰出金。国保特会赤字補填ということで8,000万円を計上しています。国保特会が単年度、結局、今までずっと単年度赤字が続いていてですね、累積赤字もかなり膨れてきているのが現状であ

ります。それで去年からそうですけれども、そういったのも極力最終補正に、一般会計のほうからもみんなで経費を削減して、余剰金が出たときは極力残ったのを赤字補填に回そうということで8,000万円何とか工面できたので、最終補正で繰出ししている状況です。

○ 議長 東恩納寛政君 1番 與儀常次議員。

○ 1番 與儀常次君 毎年、繰上充用で国保はこの前の議会の研修のときも、今帰仁村は連月赤字決算ということでありましたけど、国保は平成30年になると県に移管されるということでありましたけど、赤字をそのまま背負いながら県に移管できるかどうか。

それと平成30年までのシミュレーションで、今まで繰上充用してきた件もありますので、逆算して国保会計のスムーズな運営ができる方法を、今後はどういった方法で取り組んでいくのか、答弁を求めます。

○ 議長 東恩納寛政君 宮里 晃福祉保健課長。

○ 福祉保健課長 宮里 晃君 ただいまの質疑にお答えします。

市町村の国保に関しましては、他の非被用者保険、社会保険とかですね、いろいろな保険がありますがけれども、それに比べまして非常に低所得者層、そういった保険に加入できない方が最後に加入する最後の皆の保険と言われております。そういうこともありまして、非常に財政事情も厳しくて、どの市町村も赤字を抱えている状況にあります。先ほど1番議員のほうからお話がありましたけれども、国保の運営につきましては、平成30年から各都道府県に移管されるという形で、各県においても、その計画を今進めているところでございます。ただ、先に申し上げましたけれども、どの市町村でも非常に厳しい財政運営に追い込まれているという状況で、そういった赤字に関しましては各市町村で何らかの形で解決していかなければならないんですけれども、市町村の努力だけでは非常に難しい面があるというところで、実は国のほうから平成27年度から保険財政共同安定化事業ということで、財政的な支援をする取り組みの拡大も行われております。また、医療費抑制のために向けて、昨年、被保険者証と受診券が一体化になったカードが発行されるようになりましたけれども、そういった取り組みも県含めて各市町村で取り組んで行きたいと思います。また、そういった自分自身がかかった医療費をよく知ってもらうための医療費通知。ジェネリック医療費の利用なども含めた形で、各市町村の枠を飛び越えて国全体で医療費抑制を図りながら、財政的な赤字も縮小して解決をして、その後に県のほうの一元化というところを目指しているところであります。市町村の努力もそうなんですけれども、県挙げてですね、そういう財政的な支援も含めて取り組んでいって、平成30年に統合というところでありまして、今回につきましては8,000万円の財政が、一般会計から繰り入れられるというところもありまして、可能な限り単年度赤字については解消できるような形にもっていきつつ、これまでの累積の赤字を減らしていく方向という形で、今後またさらに医療費抑制、必要な保険税の値上げについてまた検討していかなければならないかなと思っております。以上です。

○ 議長 東恩納寛政君 1番 與儀常次議員。

○ 1番 與儀常次君 課長の説明で大体わかりました。平成30年には県に移管される形になるというお話ですけど、その前に村民、行政がともに取り組んで、この赤字財政を解消しない限りは一緒に移管することはできないと思っています。前にJAもやったときは赤字を持っている農協も一緒に合併・統合という形になったんですけども、国保はそういうことにはならないと思っていますので、今後も将来に向けて

役場が今、健康づくりにいろいろ頑張っておりますけれども、行政だけの努力では絶対に足りないところがあると思っていますので、村民も県も活用しながら、全体で赤字減らしをやっていかなければならないと思っています。今後は値上げはしないといけないと思っていますので、平成30年に向けて、今後は国保の保険料の料金の値上げも検討を今後していくのか、村長の答弁を求めます。

○ 議長 東恩納寛政君 與那嶺幸人村長。

○ 村長 與那嶺幸人君 ただいまのご質疑にお答えしたいと思います。

3款民生費の28節繰出金についてでございますが、その中で健康保険税の値上げのことを考えているかということではありますが、まずは第一義的には村民の健康づくりをして村民の健康を守ることということで、今年の1月11日から今泊区をスタートに各字、毎週日曜日にウォーキングということで、これは相当輪が広がっております。そういう中で、また一巡したらまた連続してやっていきたいなというふうに思っております。そういう中で値上げというと、なかなか今の村民の所得から見ますと、値上げしたら解決するかというと、それは非常に難しい面があるというふうに思っております。それと、先ほど課長からもありましたけど、沖縄の特殊事情があつてですね、前期高齢者の数がさきの沖縄戦で大分少ないという中で、全国と比較すると交付金が極端に少ないわけです。そういう中で市町村としてもですね、国に対して、これは沖縄だけの問題で、全国とは違う状況があるということで要請をしてですね、国も非常に前向きに平成27年度からは予算措置をするということを明言しておりますので、そういう意味では少しはよくなるかなというふうに思っておりますが、何と言ってもやっぱり自分の健康は自分で守るとか、つくるという中で、やっぱり健康じゃないと幸せになれませんので、第一に健康づくりを推進していきたいなというふうに思っております。以上です。

○ 議長 東恩納寛政君 ただいまの1番與儀常次議員の質疑は既に3回に達しましたが、会議規則第55条ただし書きの規定により、特に発言を認めます。1番與儀常次議員。

○ 1番 與儀常次君 このことはワッター今帰仁村だけの問題ではないと思っています。今、村長が答弁したとおり県にも頑張ってもらって、国からの補助金を今さっき説明があつたとおり、もらいながら沖縄県全体の悩みだと思っておりますので、皆で解決するように平成30年に向けて頑張るように提言して終わります。

○ 議長 東恩納寛政君 ほかに質疑ありませんか。9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太君 40ページ、4目財産管理費、25節積立金の一番下、村営火葬場の維持管理及び建設基金200万円ですか。現在、建設基金はどれぐらい金額があるのか、答弁を求めます。

○ 議長 東恩納寛政君 當山清巳総務課主幹。

○ 総務課主幹 當山清巳君 ただいまのご質疑にお答えします。

12月補正で修繕するために80万円繰り入れしていますので、当初が100万円あつて80万円使つて20万円ですね。現在の残高は20万円です。それで今回、また今後のためにもと思って最終補正で200万円を積立したいということでの提案です。

○ 議長 東恩納寛政君 9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太君 維持管理及び建設基金とありますが、建設する予定はいつごろなのか、その辺答

弁を求めます。

○ 議長 東恩納寛政君 休憩します。 (休憩時刻 午後 2 時14分)

○ 議長 東恩納寛政君 再開します。 (再開時刻 午後 2 時14分)

宮里 晃福祉保健課長。

○ 福祉保健課長 宮里 晃君 ただいまの質疑にお答えします。

火葬場の建設の予定の時期についてのご質疑なんですけれども、この件につきましては、今後、火葬場につきましては広域化を図っていくべきではないかというところで調整をしております、単独での建築ということは今想定しておらず、今後、近隣市町村との調整も図りながら、時期については決定していきたいというところであります。以上です。

○ 議長 東恩納寛政君 9 番山城 太議員。

○ 9 番 山城 太君 今の課長の答弁である程度理解はできていまして、同意見に賛成できるところなんです。以前、前議員の與那嶺議員と何名かの議員で知事と面会する場所を設けてもらってですね、與那嶺前議員が火葬場の建てかえの件で質問をしたことがありまして、前知事はいつでも来なさい、いろいろなのがあるから、事業は幾らでも探してあげるよというふうにおっしゃっていたんですけれども、それらの事業のほうで、そういった県への要請とかは一度でも行ったことがあるのか。その辺の答弁を求めます。それは建設基金があるからこそあえて聞きますので、その辺の答弁を求めます。

○ 議長 東恩納寛政君 休憩します。 (休憩時刻 午後 2 時16分)

○ 議長 東恩納寛政君 再開します。 (再開時刻 午後 2 時17分)

宮里 晃福祉保健課長。

○ 福祉保健課長 宮里 晃君 ただいまの質疑にお答えします。

火葬場の建設の補助金の要請になりますけれども、以前、本村から北部市町村会を通しての要請は行っていたようです。ただし、その際には確固たる補助金については少ないというんでしょうか、一部防衛事業についての補助金についてはありますけれども、それ以外には建築できるような補助金はないということでお話を伺っているということでもあります。以上です。

○ 議長 東恩納寛政君 ただいまの 9 番山城 太議員の質疑は既に 3 回に達しましたが、会議規則第 55 条ただし書きの規定により、特に発言を認めます。 9 番山城 太議員。

○ 9 番 山城 太君 その要請というのは、時期はいつなのか。それと何回行ったのか、その辺の答弁を求めます。これは前にも何度か関連した質問が何度かあったと思うんですよね。ボイラーの故障で。途中でとまってしまって、違う場所で火葬してもらったりということがありましたので、そういうもろもろを考えると本当に大切な、皆さんが最後に行く場所なんですよね。大切な場所なので、その辺、しっかりとした何回行ったのか、いつごろ行ったのか、その辺の答弁を求めます。

○ 議長 東恩納寛政君 休憩いたします。 (休憩時刻 午後 2 時19分)

○ 議長 東恩納寛政君 再開いたします。 (再開時刻 午後 2 時20分)

宮里 晃福祉保健課長。

○ 福祉保健課長 宮里 晃君 ただいまの質疑にお答えします。

県への要請につきましては、以前、大田県知事の時代までさかのぼるということと、現在の火葬場の隣りにあります葬斎場建築時期に調整をされているということでもあります。かなり過去にさかのぼりますので、現在、即答することができず、後日、資料を確認いたしまして報告させていただきたいと思います。以上です。

○ 議長 東恩納寛政君 ほかに質疑ありませんか。

(「質疑なし」の声あり)

○ 議長 東恩納寛政君 「質疑なし」と認めます。

これで歳出1款から4款までの質疑を終わります。

次に、歳出6款農林水産業費から12款公債費までの質疑を行います。1番與儀常次議員。

○ 1番 與儀常次君 67ページです。歳出、7款商工費、1項商工費、2目観光振興費の19節負担金、補助及び交付金です。リカリカワルミ運営補助金の39万9,580円、これは歳入の34ページの太陽光発電売電料(リカリカワルミ)と同じ金額ということでなっていますが、リカリカワルミの補助金は今後も役場の売電量で賄っていく計画なのかですね。それだったら電気料が上がったときとか下がったときに金額が変わってくる可能性がありますので、補助金は太陽光の売電料に等しく補助金という形になるのか、答弁を求めます。

○ 議長 東恩納寛政君 島袋輝也経済課長。

○ 経済課長 島袋輝也君 67ページ、7款商工費、1項商工費の中の2目観光振興費の中の19節負担金、補助及び交付金。リカリカワルミ運営補助金ということで39万9,580円計上してございますけれども、それにつきましては34ページの雑入の中に太陽光発電売電料、同じ金額の39万9,580円がございます。それを受けて、そのままりカリカワルミの電気料として支出していますので、その施設の、直接、沖縄電力のほうからリカリカワルミには入りませんので、役場に入って、経由してリカリカワルミへ補助しているという内容です。特段、向こうの維持管理費について補助金を出しているということではございません。以上です。

○ 議長 東恩納寛政君 1番與儀常次議員。

○ 1番 與儀常次君 雑入イコール施設の補助金ということで、金額も同じになっていますけど、今後もし売電料だけの補助金ということで理解して結構ということですか。別から足りない分を補填するとかじゃなくして、電気料の売り上げ分だけの補助なのかということです。

○ 議長 東恩納寛政君 島袋輝也経済課長。

○ 経済課長 島袋輝也君 今後も電気料だけ、売電料だけの補助ですかということのご質疑ですが、そのように考えております。以上です。

○ 議長 東恩納寛政君 ほかに質疑ありませんか。9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太君 ちょっと確認したいことがありまして、81ページです。11節の一番下の受講料。教員免許更新というのがあるんですけど、3万5,000円ですか、その説明を求めます。

○ 議長 東恩納寛政君 田港朝津学校教育課長。

○ 学校教育課長 田港朝津君 ただいまのご質疑にお答えします。

81ページ、10款教育費、4項幼稚園費、1目幼稚園管理費の11節需用費の受講料ですね。教員免許更新につきまして3万5,000円計上しております。その受講料につきましては、幼稚園教諭が採用前には免許を保持しておりますが、10年目に免許の更新が必要になります。その部分を補填しております。1名分です。

○ 議長 東恩納寛政君 休憩します。 (休憩時刻 午後2時26分)

○ 議長 東恩納寛政君 再開します。 (再開時刻 午後2時27分)

9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太君 この更新料まで役場から払うのは当然なんではないですか、その辺、ちょっと確認したいんですが、じゃあ教員は全て役場で更新料を払うんですかね。そうすれば、公用車に乗って更新がありますよね、運転免許でも。それも全て払わなくちゃいけないんじゃないですか。仕事で車を使うわけですから、運転免許も。これだけ特化している、何かしっくりこないような気がしてですね、それで質疑したんですけれども、その辺の答弁を求めます。

○ 議長 東恩納寛政君 新城 敦教育長。

○ 教育長 新城 敦君 ただいまのご質疑にお答えします。

教員免許法が改正されて、これまでは一度免許を取得したら更新というのはなかったんですが、現在は免許を取得して10年おきに更新をすることになっております。

それから、例えば小中学校の教員につきましては県費職員でありますので、服務監督だけ市町村でとなっております。幼稚園教諭につきましては市町村の雇用でありますので、そういうことで幼稚園教諭に関しては更新講習を補助するということでございます。

○ 議長 東恩納寛政君 9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太君 教育長の答弁で理解できました。

○ 議長 東恩納寛政君 ほかに質疑ありませんか。

(「質疑なし」の声あり)

○ 議長 東恩納寛政君 「質疑なし」と認めます。

これから討論を行います。討論はありませんか。

(「討論なし」の声あり)

○ 議長 東恩納寛政君 「討論なし」と認めます。

これから「議案第32号 平成26年度今帰仁村一般会計第7回補正予算について」を採決します。

お諮りします。

本案について、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○ 議長 東恩納寛政君 「異議なし」と認めます。

したがって「議案第32号 平成26年度今帰仁村一般会計第7回補正予算について」は、原案のとおり可決されました。

日程第3. 「議案第33号 平成26年度今帰仁村国民健康保険特別会計第4回補正予算について」を議題

とします。

本案について提案理由の説明を求めます。大城清紀副村長。

○ 副村長 大城清紀君

議案第33号

平成26年度今帰仁村国民健康保険特別会計第4回補正予算について

上記議案について、別紙のとおり提案し議会の議決を求めます。

平成27年3月6日提出

今帰仁村長 與那嶺 幸 人

平成26年度今帰仁村国民健康保険特別会計補正予算

平成26年度今帰仁村国民健康保険特別会計補正予算（第4回）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第1条 歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ3,020万5,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ22億9,801万9,000円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

平成27年3月6日

今帰仁村長 與那嶺 幸 人

第1表 歳入歳出予算補正

歳入

（単位：千円）

款	項	補正前の額	補正額	計
1 国民健康保険税		701,690	△154,472	547,218
	1 国民健康保険税	701,690	△154,472	547,218
4 国庫支出金		844,858	△382	844,476
	1 国庫負担金	506,279	△382	505,897
5 療養給付費交付金		69,996	1,000	70,996
	1 療養給付費交付金	69,996	1,000	70,996

款	項	補正前の額	補 正 額	計
7 県 支 出 金		147,682	△636	147,046
	1 県 負 担 金	19,320	△382	18,938
	2 県 補 助 金	128,362	△254	128,108
9 共 同 事 業 交 付 金		279,151	42,993	322,144
	1 共 同 事 業 交 付 金	279,151	42,993	322,144
12 繰 入 金		166,865	81,292	248,157
	1 他 会 計 繰 入 金	166,864	81,292	248,156
歳 入 合 計		2,328,224	△30,205	2,298,019

歳 出

(単位：千円)

款	項	補正前の額	補 正 額	計
1 総 務 費		47,883	△1,611	46,272
	1 総 務 管 理 費	33,985	△510	33,475
	2 徴 税 費	13,718	△1,001	12,717
	4 趣 旨 普 及 費	100	△100	0
2 保 険 給 付 費		1,256,636	△14,639	1,241,997
	1 療 養 諸 費	1,066,475	△20,000	1,046,475
	2 高 額 療 養 費	176,952	4,100	181,052
	4 助 産 諸 費	12,607	1,261	13,868
7 共 同 事 業 拠 出 金		312,766	△11,735	301,031
	1 共 同 事 業 拠 出 金	312,766	△11,735	301,031
8 保 健 施 設 費		28,997	△2,225	26,772
	1 特定健康診査等事業費	14,914	△1,971	12,943
	2 保 健 施 設 費	14,083	△254	13,829
10 公 債 費		1,000	5	1,005
	1 公 債 費	1,000	5	1,005
歳 出 合 計		2,328,224	△30,205	2,298,019

続きまして、事項別明細書の5ページをお願いします。歳入、1款国民健康保険税、1項国民健康保険税、1目の一般被保険者国民健康保険税。補正額は1億5,447万2,000円の減額でございます。これは医療給付費分現年課税分の減によるものでございます。

6ページは飛ばしまして7ページをお願いします。5款療養給付費交付金、1項療養給付費交付金、1目療養給付費交付金が補正額100万円でございます。これは現年度分の退職被保険者療養給付費交付金の100万円の増によるものでございます。

10ページをお願いします。9款共同事業交付金、1項共同事業交付金、1目高額医療費共同事業交付金、補正額1,247万8,000円の増でございます。これは1節の高額医療費共同事業交付金の増によるものでございます。続きまして2目保険財政共同安定化事業交付金の3,051万5,000円の増でございます。これも1節保険財政共同安定化事業交付金の増によるものでございます。

続きまして11ページ、12款繰入金、1項他会計繰入金、1目他会計繰入金が補正額8,129万2,000円でございます。これの主な要因といたしましては6節のその他一般会計繰入金の8,000万円が主な要因となっております。

続きまして13ページをお願いします。歳出でございます。1款総務費、2項徴税費、1目賦課徴収費。補正額100万1,000円でございます。これの主な要因といたしましては第1節報酬90万円の減が主な要因でございます。

15ページをお願いします。2款保険給付費、1項療養諸費、1目一般被保険者療養給付費が2,000万円の減額でございます。これは19節の負担金、補助及び交付金の減によるものでございます。

16ページをお願いします。2款保険給付費、1項高額療養費、1目一般被保険者高額療養費の300万円の増でございます。これは19節の負担金、補助及び交付金の300万円の増でございます。続きまして2目退職被保険者等高額療養費の100万円の増でございます。これも19節の負担金、補助及び交付金の100万円の増によるものでございます。

17ページをお願いします。4項の助産諸費でございます。2目の出産育児一時金126万円の増でございます。これは19節の負担金、補助及び交付金の増によるものでございます。

続きまして18ページをお願いします。7款共同事業拠出金、1項共同事業拠出金、1目高額医療費拠出金が743万4,000円の減でございます。これは19節負担金、補助金及び交付金の減によるものでございます。2目の保険財政共同安定化事業拠出金430万1,000円の減でございます。これも19節の負担金、補助及び交付金の減によるものでございます。

続きまして19ページ、8款保健施設費、1項特定健康診査等事業費、1目の特定健康診査等事業費が197万1,000円の減でございます。これの主な要因といたしましては7節の賃金157万円の減によるものでございます。以上でございます。よろしくお願いいたします。

○ 議長 東恩納寛政君 これから質疑を行います。質疑はありませんか。1番與儀常次議員。

○ 1番 與儀常次君 歳入、歳出一括で。17ページ、歳出、2款保険給付費、4項助産諸費です。2目出産育児一時金の19節負担金、補助及び交付金の126万円ですが、出産育児一時金の42万円掛ける3件として126万円となっていますけど、説明を求めます。

○ 議長 東恩納寛政君 休憩します。 (休憩時刻 午後2時44分)

○ 議長 東恩納寛政君 再開します。 (再開時刻 午後2時47分)

宮里 晃福祉保健課長。

○ 福祉保健課長 宮里 晃君 ただいまのご質疑に答えいたします。

2款4項2目19節の出産育児一時金であります。これにつきましては出産に伴う、その世帯へのお一人で42万円の一時金の給付でございます。当初から予算計上しておりますけれども、出産の見込みが3件

にふえているために3件分の増額としております。今年度につきましては33件という形になります。以上です。

○ 議長 東恩納寛政君 1番與儀常次議員。

○ 1番 與儀常次君 では30名で予定していたのが3名ふえて、33件という形になるわけですね。これは負担金はどこに払うのかですね。

○ 議長 東恩納寛政君 宮里 晃福祉保健課長。

○ 福祉保健課長 宮里 晃君 これは出産した世帯への支給という形になります。以上です。

○ 議長 東恩納寛政君 1番與儀常次議員。

○ 1番 與儀常次君 じゃあ、今年度は今帰仁村では予定した数より3件は子供が多く生まれたという形になるわけですか。じゃあ、これは出産育児一時金ということで、生まれてから1年間なのかですね、請求できるのは。これもありますか、もしありましたら答弁を求めます。子供を産んだら42万円が家庭に入ると理解してよろしいですか。

○ 議長 東恩納寛政君 休憩いたします。 (休憩時刻 午後2時49分)

○ 議長 東恩納寛政君 再開いたします。 (再開時刻 午後2時50分)

宮里 晃福祉保健課長。

○ 福祉保健課長 宮里 晃君 ただいまの質疑にお答えいたします。

この出産育児一時金に関しては、出産にかかる費用がかなり膨大な費用になります。つきましては、この世帯個人が全額お支払いをして、退院をする場合には個人への支給という形になりますが、實際上、かなり保険適用外なものですから、この出産育児一時金を活用して病院のほうにお支払いを行って退院しているというのが通常であります。この歳出予算のほうの13節の委託料という形になりますけれども、これにつきましては個人と病院のほうと契約も含めまして、本村から直接その金額を病院のほうに振込みをしているという状況です。したがって、かなりのこの対象者に関しては直接病院に振り込む手续をしているというところであります。以上です。

○ 議長 東恩納寛政君 ただいまの1番與儀常次議員の質疑は既に3回に達しましたが、会議規則第55条ただし書きの規定により、特に発言を認めます。1番與儀常次議員。

○ 1番 與儀常次君 この金額がぜひふえるように努力してください。前にもあった地域創生事業とも連携しながらですね、ぜひ産みやすい環境づくりも図りながら、そういうのを活用しながら一気に産婦人科に、病院に42万円もあれば大変な金額ですので払えますので、そういう制度を利用させながらですね、ぜひ今帰仁の若者が産みやすい環境整備もですね、前に質疑したものと合わせながらぜひ頑張ってもらいたいです。以上、終わります。

○ 議長 東恩納寛政君 ほかに質疑ありませんか。

(「質疑なし」の声あり)

○ 議長 東恩納寛政君 「質疑なし」と認めます。

これから討論を行います。討論はありませんか。

(「討論なし」の声あり)

○ 議長 東恩納寛政君 「討論なし」と認めます。

これから「議案第33号 平成26年度今帰仁村国民健康保険特別会計第4回補正予算について」を採決します。

お諮りします。

本案について、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○ 議長 東恩納寛政君 「異議なし」と認めます。

したがって「議案第33号 平成26年度今帰仁村国民健康保険特別会計第4回補正予算について」は、原案のとおり可決されました。

以上で本日の日程は全部終了しました。

本日は、これで散会します。

(散会時刻 午後2時54分)